

レーザー光のビーム品質(1)

波多腰玄一

1 はじめに

第7回, 第8回のガウスビームの章で紹介したビーム径およびビーム広がり角の式により, レーザー光のビーム品質指標である M^2 因子が定義される。 M^2 因子は近軸のあらゆるビームに対して適用できる。以下ではビーム幅, ビーム径の定義により, 任意のビームが近軸ではガウスビームと同じ挙動をすることを述べ, これに基づいて定義される M^2 因子を紹介する。

2 ビーム特性とビーム品質

(1) ビーム幅, ビーム径の定義

z 方向に進む光波の電界を

$$E = Af(x, y, z) \exp(-ikz + i\omega t) \quad (1)$$

とおくと, x 方向, y 方向のビームの平均位置 (centroid (重心) と呼ぶ) \bar{x} , \bar{y} (1次モーメント), およびそれぞれの方向のビーム広がりに対応する標準偏差 σ_x , σ_y の2乗(2次モーメント) はそれぞれ次式で与えられる^{1,2)}。

$$\bar{x}(z) = \frac{\int_{-\infty}^{\infty} \int_{-\infty}^{\infty} x |f(x, y, z)|^2 dx dy}{\int_{-\infty}^{\infty} \int_{-\infty}^{\infty} |f(x, y, z)|^2 dx dy} \quad (2a)$$

$$\bar{y}(z) = \frac{\int_{-\infty}^{\infty} \int_{-\infty}^{\infty} y |f(x, y, z)|^2 dx dy}{\int_{-\infty}^{\infty} \int_{-\infty}^{\infty} |f(x, y, z)|^2 dx dy} \quad (2b)$$

$$\sigma_x^2(z) = \frac{\int_{-\infty}^{\infty} \int_{-\infty}^{\infty} (x - \bar{x})^2 |f(x, y, z)|^2 dx dy}{\int_{-\infty}^{\infty} \int_{-\infty}^{\infty} |f(x, y, z)|^2 dx dy} \quad (3a)$$

$$\sigma_y^2(z) = \frac{\int_{-\infty}^{\infty} \int_{-\infty}^{\infty} (y - \bar{y})^2 |f(x, y, z)|^2 dx dy}{\int_{-\infty}^{\infty} \int_{-\infty}^{\infty} |f(x, y, z)|^2 dx dy} \quad (3b)$$

式(1)の $f(x, y, z)$ が

$$f(x, y, z) = f_x(x, z) f_y(y, z) \quad (4)$$

のように変数分離できる場合には, 式(2a), (3a)は以下のように x のみの積分になる。

$$\bar{x}(z) = \frac{\int_{-\infty}^{\infty} (x - \bar{x}) |f_x(x, z)|^2 dx}{\int_{-\infty}^{\infty} |f_x(x, z)|^2 dx} \quad (5)$$

$$\sigma_x^2(z) = \frac{\int_{-\infty}^{\infty} (x - \bar{x})^2 |f_x(x, z)|^2 dx}{\int_{-\infty}^{\infty} |f_x(x, z)|^2 dx} \quad (6)$$

y 方向の式(2b), (3b)についても同様である。

第7章で述べたように, 式(3)の σ_x , σ_y を用いて, x 方向および y 方向のビーム幅 d_{σ_x} および d_{σ_y} は以下で定義される。

$$d_{\sigma_x}(z) = 4\sigma_x(z) \quad (7a)$$

$$d_{\sigma_y}(z) = 4\sigma_y(z) \quad (7b)$$

ビームウェスト幅 $d_{\sigma_{x0}}$ および $d_{\sigma_{y0}}$ は

$$d_{\sigma_{x0}} \equiv d_{\sigma_x}(z_{0x}) = 4\sigma_x(z_{0x}) \quad (8a)$$